

## 《調査と資料》

# 文政11年改諸国鋳物師名寄記

板 倉 勝 高

わが国の最近の工業発展は機械組立工業の進展に負うところが多いことはいうまでもないが、現在の機械工業地域を検討してみると、これらの下請工業の技術的基盤として、鋳物工業が重要な役割を果たしている。この鋳物工業の成立をみると、多くは近代工業以前からの鋳物師によって伝承された技術が素地になっており、近代工業地域の形成を考えるために、近代以前の鋳物師の分布とその状態を知ることが必要である。ところがそのつもりで2, 3の地域を当ててみると<sup>1)</sup>、その地域の有力鋳物師はいずれも京都真継家の差配に従っていたといい伝えており、往復文書なども少なからず所持している。

### (1) 真継文書

諸国の鋳物師達が古くから諸役免除、諸国往来の特権を記した蔵人所牒<sup>2)</sup>をもち、鋳物師職座法に服し、河内国日置荘に居住した鋳物師の末流であると自称していたことは、柳田国男の海南小説をはじめとしてよく知られたことである。鋳物師職座法之掟は天正4年(1576)御蔵宗弘の名前で配布されたもので(写真1)、豊田武が記載している<sup>3)</sup>。

宗弘は真継氏であり、蔵人、御蔵小舎人に属したため御蔵と称したものである。『地下家伝<sup>4)</sup>』によれば、御蔵小舎人家は山科2家、真継、栗津の4家であり、真継家は初代則弘から30代能弘までの記載があるが、出生、補任などの年月が記録されているのは15代忠弘からで、それ以前の記事には疑問の点が多かろう。宗弘は18代であるが記事にはただ早世とのみ書いてある。

5代元弘の項に「始而鋳物師共公用之鋳物執奏」とあり、真継家はこれを根拠に諸国鋳物師支配を唱えた

ようである。座法に宝徳年中差出請文109人とあるが、これより120年位前になる真継氏は宝徳から天正にかけての戦国期に諸国鋳物師と実質的な関係をつくりあげていったらしい。

河内国丹南の日置荘については莊園志料などにも記載がなく、場所が大阪府松原市のあたりであること<sup>5)</sup>以外にはよく分らない。真継氏もおそらくこの莊園の領家などではなかったかと考えられ、どうして蔵人所の小舎人が鋳物師を掌握してきたかは今後の研究にまたなければならぬ。

真継家の差配の内容は座法に記されたもの以外は知られていない。真継氏は新規鋳物師を禁止して鋳物師の独占権を護り、一国一郡の専管領域などについての係争があったとき諸藩の伺に対して裁定を下している。幕藩体制下にあつては、真継氏の権力は違反者に直接及ぶものではなく、諸藩の権力に依存しなければならなかった。

これに対して鋳物師側の義務は、御公用の鋳物の調進(これはあまり行なわれなかったらしい)、御即位の時の御祝儀、御倉(真継家)代替の時の祝儀であるが、鋳物師の継目も真継家の認可が必要だったから(写真2)そのたびに何かの上納はあったのであろう。

真継文書はこのような鋳物師との往来文書や記録を主とし、その他に真継家関係の資料をふくんでいる。

幸いなことにこの京都真継家の文書は半田市の楠家に伝えられ、その大部分は名古屋大学文学部国史学研究室に移された。

この文書は中世末から明治初期におよぶ膨大なもので、これを整理するのは容易なことではないが、完成すればこれによって得られる便益は、はかり知らぬほど大きなものである。

真継家をめぐる歴史的経過については、専門家の研究をまたなければならぬ。しかし筆者の関心は近代工業地域の形成要因としての鋳物師集団の所在にあつたから、真継文書の中に、その差配下にあつた鋳物師

1) 板倉勝高「中居鋳物と高岡鋳物の地域的抗争」『信州大学教育学部研究論集』, Vol. 16, 1965, pp. 70-76.

2) 飛見丈繁『高岡鋳物史話』, 1954, pp. 45-48. 蔵人所牒は紛失のため後代に真継家から再交付という形をとったものが多い。質文書とされる所以である。

3) 豊田武『増訂中世日本商業史の研究』, 1952, 岩波書店, pp. 64-98.

4) 正宗敦夫編『日本古典全集』の中「地下家伝式」, 1937, 同全集刊行会, pp. 366-370.

5) 吉田東伍『日本地名辞典』, 1900, 富山房, p. 331.

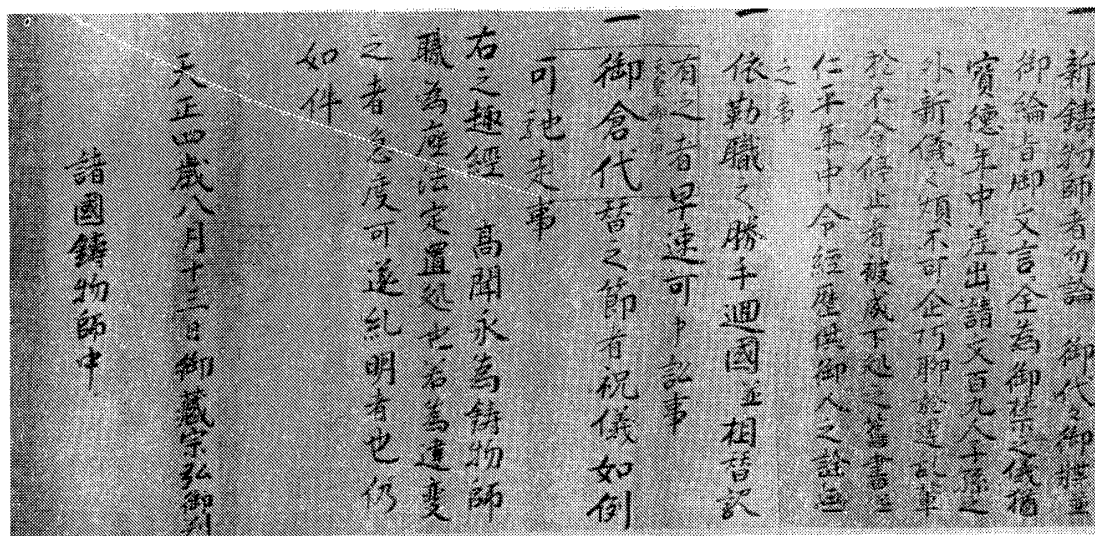
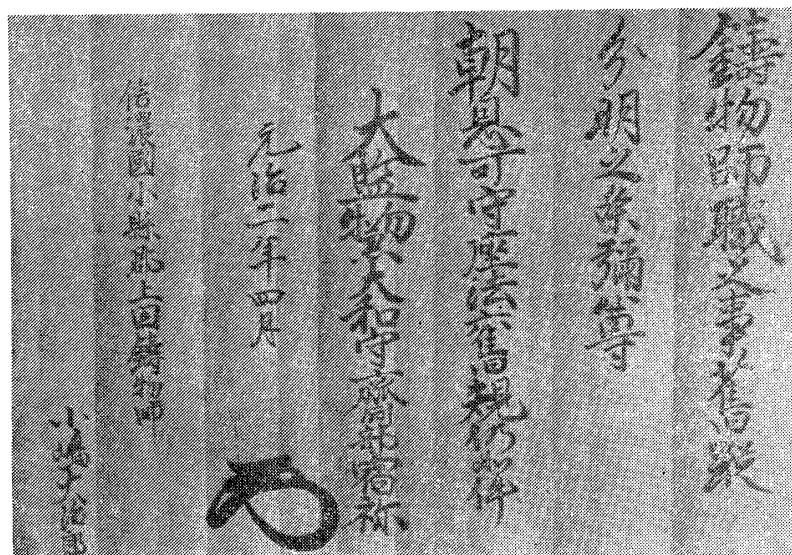


写真2 鋳物師継目文書



の名前帳があるに相違ないと考え、同研究室を訪れたところ、2冊の名前帳らしきものがあることを教えられた。

## (2) 文政11年諸国鋳物師名寄記

名前帳の1冊は時代がわからないが、大分古いものである。美濃紙六ツ折位の小さなものであった。おしいことに字が細かく、読み下すのに時間が必要であったし、写真の撮影もちょっと難しかった。もう1冊は美濃紙二ツ折版で文政11年改諸国鋳物師名寄記(扉には諸国鋳物師名前帳とあり)と記されている(写真3)。鋳物師の名は国別に記載されている。その例として伊賀国のページを示した(写真4)。国名、領主名、地名、氏名のほか、継目の時日が記され、その後の移動については差紙によって訂正している。つまり登録台帳である。この移動は文政11年(1828)から嘉永5年(18

52)に至る4年間のものだから、最終の状態では嘉永5年の有様を示していることになる。

筆者が耳にした範囲では、このような名前帳はこの2冊の他に豊田武氏蔵、国立博物館蔵、楠氏蔵の3冊があるといわれるがよくわからない。楠氏蔵のものを除き、ただ国毎に名前が記載されているだけの簡略なもので、この文政11年改のものが一番整備されたものであるらしい。国立博物館のものは明治初年のものだといわれる。筆者は近代工業以前の鋳物師集団の所在を知りたかったから、できるだけ新しく、かつくわしいところが必要であったから、この文政11年改を取りあげ、これを最終の状態、すなわち嘉永5年現在で整理し、200地区、493人を算出し、各地区を現在地と照合し第1表を作製した。讃岐国金比羅神社領愛宕町、堺衆人町、堺読淡村は現在地不明である。また安芸国

## 師 職 座 法 の 掟

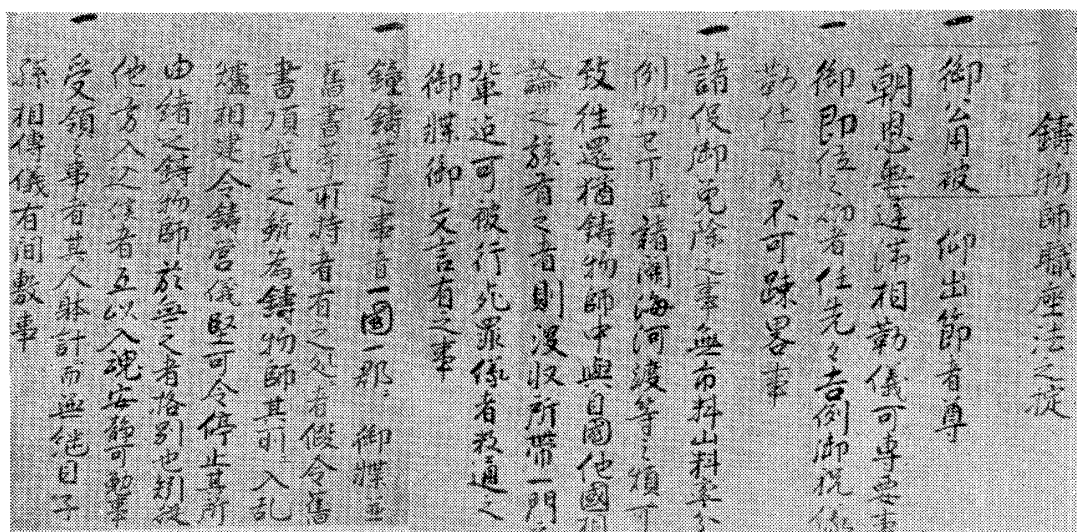
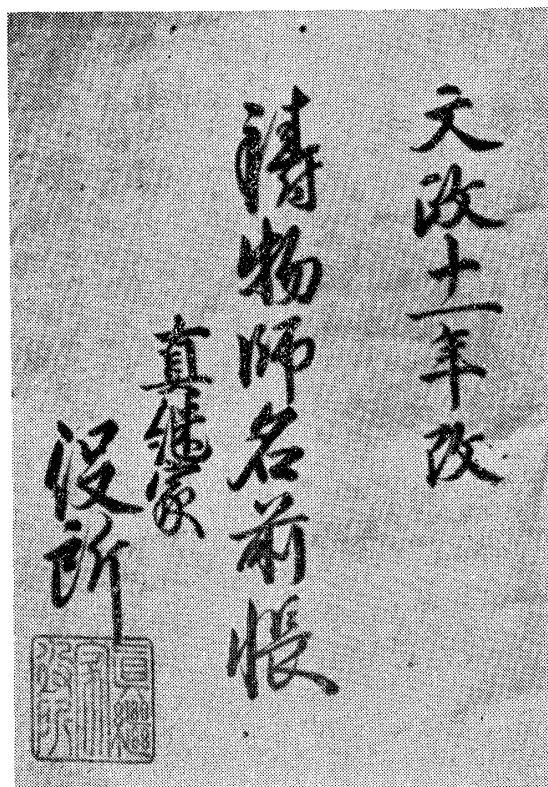


写真 3 a 諸国鋳物師名寄記（表紙）

写真 3 b 諸国鋳物師名寄記（見返し）



加茂郡白市村とあるのは備後国のあやまりと考えられる。3人以上の集団地の名簿は別にぬき出して第2表を作った。名前の上に朱で札、金屋、鍋屋などと記したもの、カギを付したものがあがるが何を意味しているかよく分らない。第1表の国名の順は名寄記の順序で、1名もない所にも1ページを与えてあるが、その分は誌面を惜しんで省略した。

## (3) 鋳物師の分布

第1表を図示したものが第1図である。高岡と柏崎

(大窪)に特別な大集団があり、川口、佐野(天命)、小浜、栗東(栗太郡辻村)これにつぐ。概して近畿地方に多く、中規模な集団も近畿とその周辺に多いが、北陸筋から加悦までの裏日本、福知山、綾部、篠山、津山それに近江国など近畿、中国の山間内陸部に多いものが目立ち、今日のいわゆる東海地方メカロポリスやベルト地帯には比較的少ない。奥州は福島、山形までで、九州、四国も少ない。江戸、駿府、下総などの天領に少ないが、同じ幕府直轄地でも数は少ないが大阪、

第1図 真継文書による鋳物師分布図

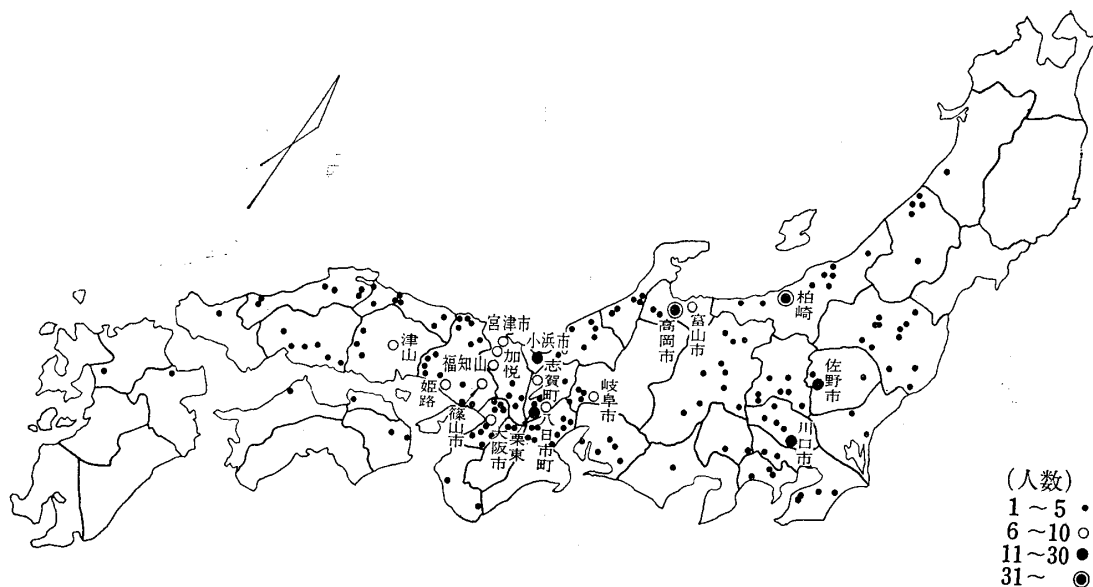
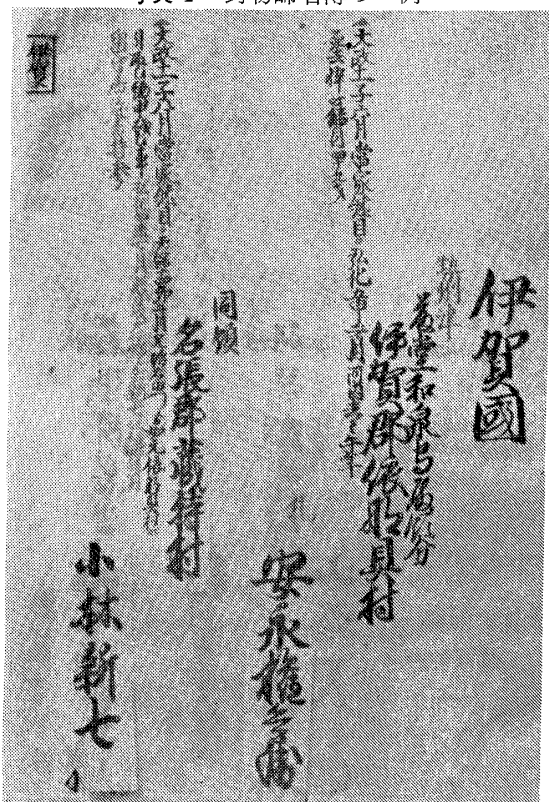


写真4 鋳物師名簿の一例



京都、堺、奈良にもあることはあるのだから、一般的に天領には真継の差配はおよばなかったとすることはできない。

高岡や中居の例をみると、真継差配下の鋳物師とはタタラ（送風用フイゴ）を使用して鉄を熔融する者であるから、一人前の親方である。ところが高岡や柏崎の鋳物師はおそらく全部書き上げてあるのに、京都には和田吉兵衛ただ1人しかなく、江戸には1人もいな

い。京都三条の釜座は有名で座人88名<sup>6)</sup>といわれ、吉兵衛も「名を得しもの」ではあったが、名越家などの著名鋳物師が入っていない。釜座の代表として吉兵衛だけが名を連ねていたのだろうか。1人も記されていない江戸の鋳物師のことはよく分らないが、神田明神に天明2年（1782）頃80余人の鋳物師が共同で寄進した手水鉢があったし、宝永元年（1704）の武鑑には御釜師30人とあるという<sup>7)</sup>。釜屋堀の太田釜六、田中釜七は近江の出身<sup>8)</sup>で、出職であつたらしい。近江には太田、田中姓の鋳物師があり、江戸へではないが出職の注記のあるものが多い。両名の他にも江戸にでていた者があつたろうし、佐野（天命）からも出府していたという。

こうしてみると諸国鋳物師差配といっても配下鋳物師が1人もいない国が20ヵ国もあり、また存在した鋳物師全部を登録していたわけでもない。したがってこの名簿の人員から鋳物師集団の大きさを考えてはならない。これは集団と資料の所在のみを示すものである。

筆者は数年前信州に勤務していたので、こころみに名簿によって信濃国の鋳物師を調査してみると、5軒に3軒位の割合で意外に多数の所蔵文書の存在を知ることができた。写真1、2はその例で、真継家との往復文書のほか売買の記録、日記帳、技術上のメモのようなものもある。そして今では所有者も全くその価値を知らず、文書はいたずらに鼠の住家となり、いつか

6) 豊田武、前掲書、p. 9.

7) 山本真夫『東京の鋳物』、1957、工業之日本社、pp.74-79.

8) 『江東区史』、1957、江東区役所、pp. 1441-1442.

は屑屋に売られるか廃棄されてしまうであろう。

おそらく他の地方でもこの位の割合で文書が残存しているであろうと考えられるから、全国の数を含せると膨大な鑄物師資料が退蔵されていることになる。これらの埋れた資料は1日も早く研究者の手によって探索され、学問的に整理し、体系的研究に役立てる道が開かれなければならないが、今回、名古屋大学文学部弥永教授のご好意によってこの名簿を本論集に公開す

ることができたことはまことに悦ばしい。これが手になりとなって鑄物師社会全体の状況が解明される時が待ちのぞまれる。

付記 この名簿を整理し、鑄物師の訪問調査のために中川弘康君の協力を得たことを感謝をもって付記する。この名簿によって鑄物師を訪問調査された時には、名大弥永教授か筆者にご一報下さるようお願いする。

第1表 諸国鑄物師名寄記（文政11年～嘉永5年・真継文書）（注 ・：札，△：金屋，3人以上は第2表。）

番号	国名	場 所	現 在 地	人数	氏 名
1	山城	京三条釜屋	京都市中京区三条通釜屋町	1	和田吉兵衛
2	"	伏見紺屋町	京都市伏見区紺屋町	1	住友幸治
3	大和	添上郡南都鍋屋町	奈良市鍋屋町	3	別表
4	"	" 油留木町	奈良市油留木町	1	中村善四郎
5	"	葛下郡五位堂村	奈良県北葛城郡香芝村	3	別表
6	河内	茨田郡枚方	大阪府枚方市	1	田中仁左衛門
7	"	錦部郡長野村	大阪府河内長野市	1	・田中佐太郎
8	"	石川郡富田林	大阪府富田林	1	田中儀右衛門
9	和泉	大鳥郡堺瓦町	大阪府堺市	2	池田次郎兵衛，山本伊右衛門
10	"	" 堺市衆人町	大阪府 "	1	八上庄兵衛
11	"	" 堺町読淡村	大阪府 "	1	・田村喜兵衛
12	"	南部岸和田五軒町	大阪府岸和田市	1	佐納真衛門
13	"	同郡貝塚北町	大阪府貝塚市	1	宇野長右衛
14	摂津	大阪道頓堀徳寿町	大阪市南区	2	△藤井嘉兵衛，△山中正兵衛
15	"	" " 湊町	"	1	中江久右衛門
16	"	" 新難波中町	"	1	△岩井常次郎
17	"	" 西高津新地	大阪天王寺区高津町	1	岩本平右衛門
18	"	" 橘通老町目	" 西成区橘通	1	中江久兵衛
19	"	" 阿波町	大阪市西区	1	△岩本七郎右衛門
20	"	西成郡下福嶋村	大阪市福島区下福島	1	江川佐十郎（多田屋）
21	"	大阪唐物町老町目	大阪市東区唐物	1	宮崎弥三郎
22	"	嶋下郡福井	大阪府茨木市福井	3	別表
23	"	兵庫津永沢町	兵庫県神戸市兵庫区兵庫港町	5	"
24	"	阿辺郡伊丹橋町	大阪府豊中市橋通り	1	田端四郎左衛門
25	"	豊嶋郡池田中之町	大阪府池田市中之島町	1	森本伝右衛門
26	伊賀	伊賀郡依船具村	三重県上野市依那具町	1	安永権兵衛
27	"	名張郡蔵持村	三重県名張市蔵町	1	小林新七
28	"	名張郡名張櫛町	三重県名張市櫛町	1	・梅田甚右衛門
29	"	阿拝郡外山村	三重県上野市外山町	1	・山路美之助
30	伊勢	桑名郡桑名鍋屋町	三重町桑名市鍋屋町	2	・広瀬長左衛門 △広瀬九郎兵衛
31	"	河芸郡中山村	三重県安芸郡河芸町	1	阿保肥後大塚顯信
32	"	飯野郡蛸路村	三重県松坂市上(下)蛸路町	1	阿保河内大塚清長
33	"	安濃郡津新東町	三重県津市新東町	2	奥山金吾，奥山建吾
34	"	朝明郡田光村	三重県三重郡菰野町田光	1	諸岡三郎
35	尾張	知多郡久米村	愛知県常滑市	1	片山茂兵衛
36	参河	宝飯郡北金屋村	愛知県豊川市金屋町	3	別表
37	"	幡頭郡平坂	愛知県西尾市平坂町	2	太田庄兵衛 太田甚兵衛
38	"	額田郡岡崎祐金町	愛知県岡崎市祐金町	2	安藤金右衛門 木村九兵衛
39	"	碧海郡大浜松江	愛知県碧南市大浜	1	国松重兵衛
40	遠江	周知郡森町村	静岡県周知郡森町	1	山田七郎左衛門



番号	国名	場 所	現 在 地	人数	氏 名
41	甲斐	山梨郡新青沼村	山梨県甲府市新青沼	3	別表
42	"	都留新田村	山梨県北都留郡上野原町新田	1	・足立惣右衛門
43	相模	足柄下郡小田原新宿町	神奈川県小田原市	1	山田次郎左衛門
44	"	愛甲郡萩野村	神奈川県厚木市萩野	1	木村平八郎
45	"	" 及川村	神奈川県厚木市及川	1	・佐藤条次郎
46	武蔵	足立郡川口宿	埼玉県川口市	12	別表
47	"	児玉郡八幡山金屋村	埼玉県児玉郡八幡山	3	"
48	"	秩父郡大川原奥沢村	埼玉県秩父郡大滝村	1	・足立弥兵衛
49	"	比企郡上小用郷大豆戸村	埼玉県比企郡鳩山村	1	・宮崎柳七
50	"	多摩郡上横川村	東京都八王子市横川町	1	・加藤勘兵衛
51	"	" 谷保村	東京都北多摩郡国立市谷保	1	・関忠蔵
52	"	" 八王子宿	東京都八王子市	1	・師岡忠輔
53	"	入間郡河越東明寺村	埼玉県川越市	1	・矢沢四郎右衛門
54	上総	上総長柄郡茂原村	千葉県茂原市	1	石原善兵衛
55	"	一原郡牛久久村	千葉縣市原郡南総町牛久	1	宇佐五郎兵衛
56	"	望陀郡矢船村	千葉県木更津市	1	小田部五郎左衛門
57	"	" 貝淵村	千葉県木更津市貝淵	1	小倉伝蔵
58	常陸	真壁郡田村	茨城県真壁町田	5	別表
59	"	鹿島郡大和田村	茨城県鉾田町大和田	1	井川善右衛門
60	近江	栗太郡辻村	滋賀県栗東町辻	14	別表
61	"	滋賀郡和辻南浜村	滋賀県志賀町和辻中	6	"
62	"	甲賀郡寺屋村	滋賀県中南町寺庄	1	望月四郎兵衛
63	"	蒲生郡八幡多賀村	滋賀県近江八幡市	1	望月六兵衛
64	"	" 八日市金屋村	滋賀県八日市町	8	別表
65	"	坂田郡長浜金屋町	滋賀県長浜市金屋町	2	西川甚左衛門 西川長左衛門
66	"	神崎郡三俣村	滋賀県神崎郡五箇荘町三俣	1	徳田七郎兵衛
67	"	高嶋宮野村	滋賀県高嶋町	1	白井惣左衛門
68	美濃	厚見郡岐阜小鮎村	岐阜市小鮎町	1	別表
69	"	本巣郡山口村	岐阜県本巣郡本巣町山口	3	・ "
70	"	石津郡多良上原村	岐阜県養老郡上石津村	1	栗田彦太郎
71	"	羽栗郡徳田新田村	岐阜県羽島郡岐南町	1	・田中兵蔵
72	"	安八郡大垣竹鳴町	岐阜県大垣市竹鳴町	1	・田中清左衛門
73	"	大野郡大井村	岐阜県本巣郡根尾村	1	高田弥
74	信濃	筑摩郡松本飯田町	長野県松本市飯田町	2	田中伝右衛門 浜伊右衛門
75	"	小県郡上田	長野県上田市常入	3	別表
76	"	諏訪郡上諏訪角間町	長野県諏訪市角間町	1	・小嶋佐市郎
77	"	高井郡村山村	長野県須坂市村山	1	金山平右衛門
78	"	水内郡南郷村	長野県下水内郡豊野町南郷	3	別表
79	"	" 善光寺西町	長野県長野市善光寺西町	1	伊藤又兵衛
80	"	佐久郡岩村田宿	長野県佐久郡岩村町	1	大主伝左衛門
81	"	伊奈郡飯田伝馬町	長野県飯田市伝馬町	1	・上柳喜右衛門
82	"	更級郡八幡村	長野県長野市更埴市屋代	1	南沢吉太郎
83	上野	吾妻郡原町	群馬県吾妻郡吾妻町原町	1	・小嶋七兵衛門
84	"	群馬郡上新田村	群馬県前橋市上新田町	2	倉林儀左衛門, 倉林森右衛門
85	"	" 高崎	群馬県高崎市	1	・小嶋弥兵衛
86	"	" 白井吹屋村	群馬県北群馬郡子持村	2	・小沢佐左衛門, 小沢七兵衛門
87	"	甘楽郡下仁田村	群馬県甘楽郡下仁田町	1	・太田長左衛門
88	"	" 下丹生村	群馬県富岡市下丹生	1	太田半兵衛
89	"	邑楽郡館林塚場町	群馬県館林市	1	・清水常蔵
90	下野	安蘇郡佐野天明宿	栃木県佐野市天明	21	別表
91	"	都賀郡栃木町	栃木県栃木市	1	石原市郎兵衛
92	"	那須郡黒羽田町	栃木県黒羽町黒羽田町	1	小田部儀助

番号	国名	場 所	現 在 地	人数	氏 名
93	陸奥	会津郡会津材木町	福島県会津若松市材木町	1	星野宗七
94	"	" 林寺町	福島県会津若松市	1	・早山主殿介
95	"	" 七日町	福島県会津若松市七日町	1	・谷彦左衛門
96	"	白川郡上石井村	福島県東白川郡塙町上石井	3	別表
97	"	" 白川横町	福島県白川市横町	1	斉藤善兵衛
98	"	磐前郡岩城平梅香町	福島県平市梅香町	1	・椎名浅右衛門
99	"	伊達郡染川後町	福島県伊達郡染川町	1	桑嶋弥七
100	"	岩瀬郡須賀川町	福島県須賀川市	1	・内藤欣三郎
101	"	田村郡中町	福島県郡山市中町	1	宗像藤右衛門
102	"	菊郡上西郷村	福島県西白川郡西郷村	1	菅野栄作
103	"	安積郡日和田村	福島県安積郡日和田町	3	別表
104	"	菊多郡植田村	福島県忽来市	1	椎名久夫郎
105	"	岩瀬郡須賀川町	福島県須賀川市	1	相楽猪左衛門
106	出羽	村山郡山形銅町	山形県山形市銅町	1	・佐藤金十郎
107	"	田河郡庄内廻館村	山形県東田川郡余目町廻館	1	太田善兵衛
108	"	田河郡鶴岡三日町	山形県鶴岡市三日町	2	国松市左衛門, 佐藤七兵衛
109	"	飽海郡酒田	山形県酒田市	1	国松吉右衛門
110	"	由利郡本庄新町	秋田県本庄市名勝新町	1	北原金左衛門
111	"	田河郡庄内大山村	山形県西田川郡大山町大山	1	△伊藤助右衛門
112	若狭	遠敷郡金屋村	福井県小浜市金屋町	25	別表
113	越前	吉田郡芝原志比境村	福井県吉田郡村岡町志比堺	2	清水四郎平, 清水奎右衛門
114	"	" 松岡窪村	福井県吉川郡松岡町	3	別表
115	"	今立郡五分一村	福井県武生市五分一町	1	・松村次右衛門
116	"	鳥野郡敦賀鋳物師村	福井県敦賀市	4	別表
117	"	坂井郡三国湊	福井県坂井郡三国町	1	浅田和右衛門
118	加賀	河北郡金沢浅野吹屋	石川県金沢市浅野町	2	武村弥吉貞磨, 同弥次兵衛貞執
119	"	" 金沢高道町	石川県金沢市高道町	1	横川九左衛門
120	"	能美郡小村八日市町	石川県小松市八日市町	1	・中山善右衛門
121	"	石川郡金沢野町	石川県金沢市野町	1	村山四郎兵衛
122	"	能美郡元吉町	石川県小松市金屋川町	1	平井興三郎
123	能登	鳳至郡中居	石川県鳳至郡	3	別表
124	越中	射水郡高岡金屋町	富山県高岡市金屋町	45	別表
125	"	新川郡富山下金屋	富山市下金屋町	7	"
126	"	" 富山上金屋	富山市上金屋町	1	・山本五郎左衛門
127	"	礪波郡今石動町	富山県小矢部市今動石動	2	高山七左衛門, 高山茂兵衛
128	"	礪波郡西部金屋村	富山西礪波郡戸出町西部金屋	4	別表
129	越後	古志郡長岡新町	新潟県長岡市	1	星野太郎右衛門
130	"	三嶋郡与板	新潟県三島郡与板町	1	土肥佐左衛門
131	"	蒲原郡見付	新潟県見付市	1	・徳橋久左衛門
132	"	" 新潟	新潟県新潟市	2	・土屋忠左衛門, 土屋庄吉
133	"	" 三条重館村	新潟県三条市	1	田中佐兵衛
134	"	頸城郡高田鍋屋町	新潟県高田市	4	別表
135	"	頸城郡糸魚川一の宮村	新潟県糸魚川市一の宮	1	森半左衛門
136	"	岩船郡小泉之庄村上長井町	新潟県村上市鋳物師	1	辻村又五郎
137	"	刈羽郡大窪村	新潟県柏崎大久保	46	別表
138	丹波	桑田郡馬路村	京都府亀岡市馬路	3	別表
139	"	" 北之庄村	京都府亀岡市北之庄	1	俣野甚左衛門
140	"	" 川尻村中買	京都府亀岡河原林町中垣内	2	米屋吉郎兵衛, 平野屋伊助
141	"	船井郡胡麻新町	京都府船井郡日吉町	2	・勝田儀兵衛
142	"	何鹿郡上林淡水村	京都府綾部市上林	5	別表
143	"	矢田郡福知山鋳物師町	京都府福知山市鋳物師町	8	"
144	"	多紀郡笹山	兵庫県篠山市	7	"

番号	国名	場 所	現 在 地	人数	氏 名
145	丹後	与謝郡加悦町	京都府与謝郡加悦町	2	赤野喜右衛門、・赤野勘右衛門
146	"	" 後野村	京都府与謝郡加悦町後野	5	別表
147	"	" 宮津白柏町	宮津市白柏町	6	"
148	"	熊野郡湊大向村	京都府熊野郡久美浜町	1	堀伊右衛門
149	"	中郡峯山中町	京都府中郡峰山町	2	田中喜左衛門、国松六左衛門
150	但馬	出国郡出石町	兵庫県出石郡出石町	5	別表
151	"	養父郡広谷村	兵庫県養父郡養父町広谷	1	・太田垣九兵衛
152	"	城崎郡森村	兵庫県城崎郡香住町森	1	・三宅半左衛門
153	"	美倉郡下浜村	兵庫県城崎郡香住町下の浜	1	・関徳三郎
154	"	二方郡金屋村	兵庫県美方郡温泉町金屋	1	・谷村九郎左衛門
155	"	" 古市村	兵庫県美方郡浜坂町古市	1	・谷村権左衛門
156	因幡	邑美郡鳥取	鳥取県鳥取市	2	水戸喜十郎、秋田市左衛門
157	"	知頭郡用ヶ瀬金屋町	鳥取県八頭郡用ヶ瀬町	4	別表
158	伯耆	久米郡上古川村	鳥取県倉吉市上古川	2	・斎江定右衛門、・蓑原吉左衛門
159	"	" 若土村	鳥取県倉吉市若土	2	・馬淵重右衛門、・佐治宇右衛門
160	"	" 中田村	鳥取県倉吉市中田	1	・熊谷定右衛門
161	"	日野郡黒板村	鳥取県日野郡日野町黒板	2	馬淵七兵衛、・岩木佐兵衛
162	出雲	能饒郡宇波村	島根県能美郡布部村宇波	3	別表
163	"	" 小竹村	島根県能美郡伯太町上(下)小竹	1	永江真右衛門
164	石見	邑知郡市山村	島根県邑智郡松江町市山	1	山根源太郎
165	"	" 川本村	島根県邑智郡川本町	1	山根九郎左衛門
166	"	美濃郡高角	島根県益田市高角	1	山根佐太郎
167	"	" 中之嶋村	島根県益田市中島	1	田村興四郎
168	播磨	飾磨郡姫路野里	兵庫県姫路市野里	6	別表
169	"	" 東市之郷村	兵庫県姫路市市之郷町	1	小野七左衛門
170	"	赤穂郡高田中野村	兵庫県赤穂郡上郡町	3	別表
171	"	" 休治村	兵庫県赤穂郡上郡町休治	1	中村興三右衛門
172	"	" 加里屋町	兵庫県赤穂市加里屋町	1	大島栄左衛門
173	"	宍粟郡金屋村	兵庫県宍粟郡山崎町釜屋	2	・長谷川五郎兵衛、長谷川孫兵衛
174	"	" 段村	兵庫県宍粟郡山崎町段	1	松井太郎太夫
175	"	佐用郡平福村	兵庫県佐用郡佐用町平福	1	瓜生原清左衛門
176	"	明石郡西江井村	兵庫県明石市江井島	1	田中源五郎
177	"	三木郡安場村	兵庫県三木市細川町金屋	4	別表
178	美作	西条郡津山吹屋町	岡山県津山市吹屋町	6	"
179	備中	哲多郡井村	岡山県阿哲郡哲多町	3	"
180	"	英賀郡新見	岡山県新見市	1	・吉田興右衛門
181	"	小田郡矢掛村	岡山県小田郡矢掛町	2	高草伝右衛門、・高草永左衛門
182	備後	御調郡三原本町	広島県三原市本町	1	・吉井治右衛門
183	"	" 宇津戸村	広島県世羅郡甲山町宇津戸	1	丹下利右衛門
184	"	深津郡吉田村	広島県福山市吉田町	1	・山口長蔵
185	安芸	安芸郡海田市船越村	広島県安芸郡海田町	1	植木源兵衛
186	"	高宮郡可部町	広島県安佐郡可部町	1	三宅惣左衛門
187	"	加茂郡白市村 (備後国か)	広島県賀茂郡高屋町白市	1	・伊藤惣十郎
188	周防	吉敷郡小郡柳井田	山口県吉敷郡小郡町	1	武波平兵衛
189	紀伊	牟婁郡田辺本町	和歌山県田辺市本町	1	・的屋平太夫
190	"	" 新宮成川村	和歌山県新宮市	1	・山口佐次右衛門
191	淡路	津名郡下物部村	兵庫県洲本市上物部	1	黒田吉右衛門
192	"	三原郡金屋村	兵庫県洲本市金屋	1	松岡五兵衛
193	阿波	名東郡徳島内西船場	徳島県徳島市西船場町	1	・坂本忠右衛門
194	"	名西郡高瀬村	徳島県板野郡上板町高瀬	2	武知只六、坂東犬兵衛
195	讃岐	金比羅神社領愛宕町		1	・松田季兵衛
196	"	豊田郡辻村	香川県三豊郡山本町	5	別表



番号	国名	場 所	現 在 地	人数	氏 名
197	讃岐	豊田郡和田村	香川県三豊郡豊浜町	1	山内源右衛門
198	伊予	温泉郡松山本屋町	愛媛県松山市	1	・中田彦兵衛
199	筑後	三猪郡榎津町	福岡県大川市榎津	1	中村勘兵衛
200	豊前	宇佐郡川部村	大分県宇佐郡駅川町川部	1	久保田藤三郎

第2表 諸国鋳物師名寄記（3人以上  
鋳物師集団名簿）（注 ・：札，△：金屋と示したもの）

番号	国 名	地 名	氏 名	番号	国 名	地 名	氏 名
3	大 和	鍋 屋 町	沼津弥左衛門 松尾九右衛門 山中九郎兵衛	61	近 江	和辻南浜	国松十兵衛 田中五兵衛 太田半右衛門 孫子六右衛門 〃 次郎兵衛 〃 吉郎兵衛 〃 平三郎 〃 佐助 〃 伊左衛門
5	大 和	五 位 堂	松田宇左衛門 津田五郎兵衛 小原栄太郎	64	近 江	金 屋 村	・田中武助 松吉佐兵衛 ・田中兵衛 〃 佐兵衛 北岡伝五郎 北沢長九郎 ・小沢金右衛門 ・松吉助市
22	摂 津	福 井	谷山豊吉 谷山増次郎 堀田利右衛門	68	美 濃	小 熊 村	・岡本市郎治 〃 太左衛門 〃 伊右衛門 〃 太郎左衛門 〃 金左衛門 〃 嘉蔵 〃 安次郎
23	摂 津	永 沢 町	△丹治善左衛門 〃 長兵衛 長右衛門 八左衛門 弥惣兵衛	69	美 濃	山 口 村	・名和孫右衛門 ・国板八右衛門 ・竹中藤七
36	参 河	北 金 屋	中尾惣左衛門 ・中尾興惣治 中尾重右衛門	75	信 濃	上 田	半田八郎右衛門
41	甲 斐	新 青 沼	雨宮十左衛門 ・沼上源蔵 沼上治兵衛	75	信 濃	上 田	・小嶋久兵衛 〃 大次郎
46	武 蔵	川 口 宿	永瀬利右衛門 〃 文左衛門 〃 次郎右衛門 〃 源内 〃 金太郎 〃 長右衛門 ・永瀬卯之上 ・小林源助 ・岡本旨次郎 ・大西市五郎 ・永瀬嘉右衛門 ・ 〃 半蔵	78	信 濃	南 郷 村	宮沢嘉藤次 宮沢弾右衛門 水上市右衛門 大谷権右衛門 太田伝兵衛 ・ 〃 伊左衛門 ・ 〃 正田又右衛門 大川太郎兵衛 正田次郎右衛門 三木平右衛門 石原利八 三木忠右衛門 金子久右衛門
58	常 陸	田 村	・小田部常陸大塚胤友 ・ 〃 助右衛門 ・ 〃 河内大塚益益 ・ 〃 三郎兵衛 ・ 〃 三右衛門	90	下 野	天 明 宿	
60	近 江	辻 村	太田角兵衛 〃 庄兵衛 〃 甚兵衛 木村惣兵衛				

番号	国名	地名	氏名
96	陸奥	石井村	小嶋半兵衛 正田源右衛門 長谷川四郎右衛門 大川伊助 大川四郎兵衛 石原小四郎 小沼長五郎 正田利右衛門 半田金兵衛 小沼八左衛門 太田五郎兵衛 石川忠兵衛 石川文左衛門 石川茂十郎
103	陸奥	日和田	佐藤東蔵 鈴木甚兵衛 佐藤三左衛門 芝田喜左衛門
112	若狭	金屋村	〃 八治郎 〃 清兵衛 〃 長右衛門 〃 坪内九兵衛 〃 芝田勘左衛門 〃 清右衛門 〃 弥左衛門 大野九郎左衛門 芝田八左衛門 〃 孫右衛門 〃 源右衛門 〃 孫左衛門 武田善太夫 森吉右衛門 〃 郎右衛門 高田太郎左衛門 芝田久太夫 〃 市太夫 〃 孫左衛門 〃 新助 森重右衛門 芝田庄左衛門 〃 利兵衛 〃 又左衛門
114	越前	松岡	・渡辺藤兵衛 ・渡辺猪左衛門 ・渡辺嘉兵衛
116	越前	敦賀	・河瀬勘右衛門 ・竹中源右衛門 竹中助四郎 竹中忠兵衛
123	能登	中居	・北村重兵衛 ・小林佐兵衛 ・福光兵右衛門

番号	国名	地名	氏名
124	越中	高岡	藤田甚兵衛 金森久左衛門 〃 弥右衛門 〃 源兵衛 〃 興左衛門 般若次郎右衛門 金森藤右衛門 藤田又兵衛 喜多孫兵衛 金森八郎右衛門 藤田又右衛門 金森彦次郎 〃 佐兵衛 〃 興四郎兵衛 般若万吉 〃 権右衛門 藤田四郎右衛門 般若三郎右衛門 高守久右衛門 金森藤左衛門 金森平右衛門 藤田源右衛門 佐山長右衛門 若野四郎左衛門 金森八左衛門 喜多弥右衛門 金森権兵衛 金森八四郎 高森彦左衛門 藤田次郎兵衛 藤田藤兵衛 喜多善兵衛 般若善右衛門 金森六右衛門 喜多十兵衛 藤田仁右衛門 金森清兵衛 喜多喜三郎 般若助右衛門 金森清兵衛 般若善兵衛 金森九兵衛 藤田平兵衛 藤田又吉 金守八助 喜多九右衛門 金森小左衛門 藤田兵四郎 金森彦兵衛 喜多万右衛門 金守弥兵衛 金森源兵衛

番号	国名	地名	氏名	番号	国名	地名	氏名
125	越中	富山	高守九郎兵衛 般若惣兵衛 ・阿辺理兵衛 理右衛門 五兵衛 興三郎 安太郎 林蔵				原彦右衛門 歌代甚兵衛 佐藤重吉 ・原慶八 ・歌代佐次兵衛 原奎右衛門 ・小熊市十郎 ・原久左衛門 ・蓮池長三郎
128	越中	西部	太郎右衛門 宗右衛門 甚右衛門 ・三四郎	138	丹波	馬路村	松村清兵衛 河原和太郎 松村仁兵衛
134	越後	高田	山岸彦次右衛門 山岸藤右衛門 ・吉田仁七郎 ・山岸九郎兵衛	142	丹波	淡水村	・井関伝助 ・〃八左衛門 ・〃伝兵衛 ・福倉長右衛門 ・井関善右衛門
137	越後	大窪	・原吉右衛門 ・小熊慎左衛門 ・原治三郎 ・小熊八五郎 ・西川藤左衛門 ・小熊常左衛門 歌代市郎右衛門 小熊甚五右衛門 ・佐藤久助 近藤角右衛門 ・歌代八郎兵衛 ・佐藤忠左衛門 ・小熊与四郎 小林久右衛門 ・歌代仁右衛門 原力蔵 高橋勘左衛門 ・歌代由之助 小林市右衛門 ・歌代八九郎 ・〃弥右衛門 ・〃源四郎 ・〃喜右衛門 ・〃又兵衛 ・〃和三郎 ・原弥左衛門 歌代為右衛門 小熊亀七郎 原惣右衛門 原又右衛門 原伝十郎 歌代佐兵衛 歌代市之助 小熊武左衛門 小熊六右衛門 原伝左衛門	143	丹波	福知山	足立藤右衛門 ・〃小右衛門 ・〃角兵衛 ・〃四郎兵衛 ・〃伝右衛門 ・〃八左衛門 ・〃藤四郎 ・〃弥右衛門
				144	丹波	笹山	・小田垣吉兵衛 ・片山治右衛門 石田勘助 △波部常吉 ・長沢治右衛門 ・足立半右衛門 ・松田与左衛門 足立治右衛門 ・〃忠右衛門 ・〃仁右衛門 ・〃九郎右衛門 ・〃九郎兵衛
				146	丹後	後野	木崎善右衛門 ・〃与三右衛門 ・内田吉左衛門 ・〃彦左衛門 木崎与惣次郎 ・〃惣五郎
				147	丹後	白柏	・五分一小兵衛 ・坪井七郎右衛門 太田新右衛門 ・五分一与一郎 ・五分一九郎左衛門
				150	但馬	出石町	加賀田磯右衛門 ・入江伊右衛門 ・加賀田太次郎 ・加賀田伊兵衛
				157	因幡	用ヶ瀬	

番号	国名	地名	氏名
162	出雲	宇波村	新石平右衛門 細田市右衛門 山崎伴左衛門
168	播磨	野里	・芹田五郎右衛門 ・尾上八郎左衛門 ・田中吉十郎 ・尾上孫兵衛 田中五郎兵衛 ・瀬川安右衛門
170	播磨	中野	中井幸右衛門 中井甚右衛門 中村治兵衛 中村弥右衛門
177	播磨	安場村	黒田宇兵衛 黒田忠次郎 黒田弥兵衛

番号	国名	地名	氏名
178	美作	山吹屋	黒田真右衛門 百済重郎右衛門 ・金原治郎右衛門 ・福島八左衛門 谷口七郎治 谷口次郎左衛門 百済清次郎
179	備中	井村	・馬淵五兵衛 ・馬場治次郎 ・田原興七郎
196	讃岐	辻村	・原清蔵 権七 右衛門 式兵衛 彦助